

石垣山一夜城歴史公園までのハイキング 歩いてみませんか。「自然を楽しむみち」を！

石垣山一夜城の一带は、自然に恵まれています。博物館から一夜城までは約3.2キロの道のりです。その途中に道沿いで見ることのできる動物や植物などについての説明や道案内を9カ所に設けました。どうぞ自然を楽しみながらゆっくり歩いてみてください。一夜城までは50分ほどです。

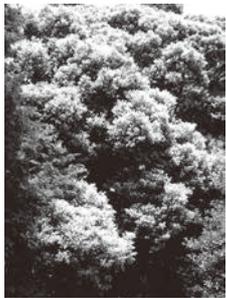


「自然を楽しむ みち」案内板のご紹介



①タカの仲間

気持ちよさそうに風に乗っている大型の鳥を見つけたら、それはトビかノスリです。この周辺では、里山で見かける代表的な鳥、オオタカもすんでいますので注意して見てみましょう。



②スダジイの古木

スダジイ(ブナ科)はかつて繁茂した常緑広葉樹の代表的な樹種です。秋に実る小さなドングリは、昔の人々にとって重要な食料資源でした。



③ハナミョウガ

ハナミョウガは関東以南に分布し、神奈川県では箱根山麓の一部だけに自生しています。群落を形成し、5月から6月に白い花を開いたあと、よくめだつ赤い実をつけます。



④ヒメボタル

6月下旬から7月上旬ころになると、陸にすむヒメボタルの小型タイプが発生します。体長が5mmととても小さいのですが、かなり強く発光します。このホタルは石垣山周辺が分布の東限で、学術的にもたいへんに貴重なものです。



⑤アサギマダラ

舞うようにゆっくりとはばたく、水色がかかったチョウに出会うことがあります。長距離移動するチョウとして有名なアサギマダラです。とても美しいチョウですが、体には毒をもっていて、鳥に襲われることがないと考えられています。



⑥石垣の大岩

道路のガケ面から出ている大きな岩は、安山岩という火山岩です。10万年以上も前に上から転がり落ちてきた岩が、火山灰や土で長い年月をかけて埋まっていったと考えられます。このような岩を使って一夜城を築きました。



⑦クヌギ林

クヌギ(ブナ科)はかつては重要な燃料資源でしたが、現在は燃料として使われることはなく、姿を消しつつあります。しかし、シイタケ栽培のための「ほだ木」としても有用です。ここのクヌギ林はその目的のために育てられています。



⑧黒いアゲハチョウたち

ゆっくりした飛び方のジャコウアゲハがもっとも多く、胸・腹部に赤い部分があって、メスは淡い茶色のはねをもつのが特徴です。かなりの速さで飛び回るのは、クロアゲハかカラスアゲハです。最近では、ナガサキアゲハも見かけるようになりました。



⑨早川の鳥たち

キセキレイは岩上をせわしなく移動しながら、尾を上下に振る習性があります。運がよいと、小魚をねらうヤマセミや、宝石のように美しいカワセミに出会うこともできるでしょう。



それぞれの案内板を読みながら、自分の目で確かめてみましょう。

県立生命の星・地球博物館のご利用案内

【開館】午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】・月曜日(祝日・休日にあたる場合は翌平日)

- ・館内整備日(第2火曜日)
- ・年末年始など

【観覧料】・中学生以下…………… 無料
・高校生・65歳以上…………… 100円
・20歳以上(学生を除く)… 520円
・20歳未満・学生…………… 300円



〒250-0031 小田原市入生田 499
Tel 0465-21-1515 Fax 0465-23-8846